

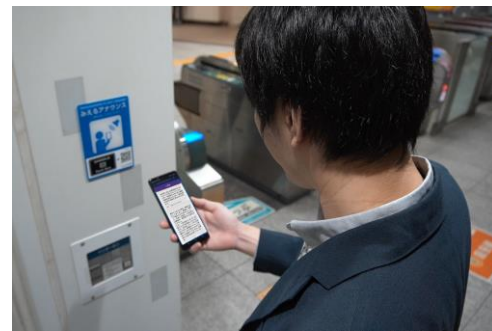
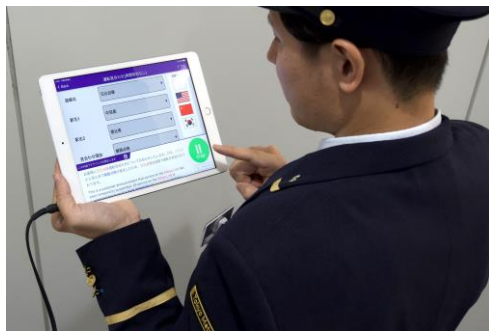
2023年12月20日

ヤマハ株式会社

東京地下鉄株式会社

国内初、専用アプリ不要で駅構内のアナウンスをお客様のスマホで文字化できる 多言語の「みえるアナウンス」を東京メトロの駅に試験導入 ～さらに、全駅*1の音声アナウンスに「おもてなしガイド for Biz」を導入～

ヤマハ株式会社（本社：静岡県浜松市、代表執行役社長：中田卓也、以下「ヤマハ」）と東京地下鉄株式会社（本社：東京都台東区、代表取締役社長：山村明義、以下「東京メトロ」）は、聴覚障がいのある方や増加する訪日外国人旅行者など多様なお客様への情報提供の充実を図るため、国内で初めて、駅構内のアナウンス音声専用アプリ不要でお手持ちのスマートフォンに文字表示してご案内できる SoundUD*2 の多言語アナウンスサービス「みえるアナウンス」を東京メトロの駅に試験導入します。さらに、全駅*1 の音声アナウンスに「おもてなしガイド for Biz」を導入します。



＜サービス概要＞

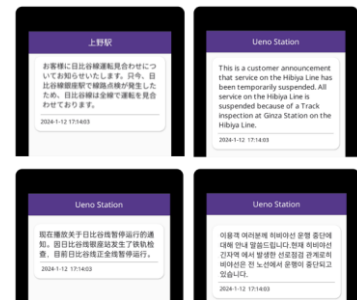
本サービスは、駅係員が操作して多言語のアナウンスを放送できるタブレット/スマートフォン向けアプリ「おもてなしガイド for Biz」と、お客様がお持ちのスマートフォンをかざすか QR コードを読み取ることでアナウンスの内容を文字表示できるトリガーボードから構成されます。



「おもてなしガイド for Biz」
駅係員用の画面イメージ



トリガーボードのイメージ



お客様のスマートフォン
画面イメージ（4言語）

東京メトロでは、これまででも障がいのあるお客様や外国人のお客様を含むすべてのお客様に安心・快適にご利用いただける環境づくりをしてまいりましたが、今回、全駅*1の業務用タブレット端末に「おもてなしガイド for Biz」アプリを導入し、駅構内での4言語（日・英・中・韓）のアナウンスに活用することにしました。

さらに、「おもてなしガイド for Biz」のアナウンスに連動して、お客様のスマートフォンへ文字表示させることができるトリガーボードを、7 駅計 46 か所に試験的に設置します。トリガーボードにお客様がお持ちのスマートフォンをかざすか QR コードを読み取ることで、その駅で放送された「おもてなしガイド for Biz」を活用したアナウンスの内容が文字で表示され、聴覚障がいのある方や訪日外国人旅行者にも視覚的に情報をお伝えできるようになります。お客様が専用のアプリをインストールせずとも、スマートフォンにアナウンスの内容を文字表示できるサービスの導入は、国内初になります。

「おもてなしガイド for Biz」の導入と「みえるアナウンス」用トリガーボード試験設置の開始は、2024 年 1 月 10 日（水）を予定しています。

● 「みえるアナウンス」試験導入駅：上野駅、浅草駅、銀座駅、新大塚駅、綾瀬駅、東池袋駅、江戸川橋駅



SoundUD の多言語アナウンスサービス 利用イメージ

ヤマハと東京メトロは、これからも安全・安心なサービスを提供することで、人々の豊かな暮らしを支えてまいります。

*1 他社への管理委託駅（日比谷線北千住駅、中目黒駅、中野駅、西船橋駅、代々木上原駅、和光市駅、半蔵門線・副都心線渋谷駅、目黒駅）を除く 171 駅

*2 ヤマハが開発・提唱し、音のユニバーサルデザインを実現するテクノロジーとサービスの総称。音のある空間と特定の情報やサービス、その空間にいる利用者をつなげることで、情報伝達をスムーズに行うことができる。

* 文中の商品名、社名等は各社の商標または登録商標です。QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

* 掲載情報はすべて発表日現在のもので、発表日以降に変更となる可能性もありますので予めご了承ください。

<ヤマハ株式会社 お問い合わせ先>

プロフェッショナルソリューション事業部

国内マーケティング&セールス部クラウドビジネスグループ

お問い合わせウェブフォーム：https://inquiry.yamaha.com/contact/?act=30&lcl=ja_JP

<東京地下鉄株式会社 お問い合わせ先>

東京メトロお客様センター <https://www.tokyometro.jp/support/index.html>
